

MS-0014 ウイング用ポンベ架

取扱説明書

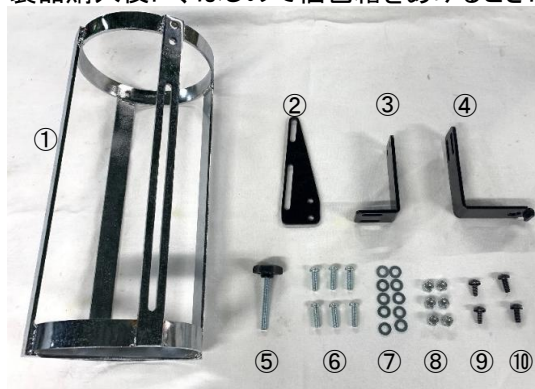
この度は、本製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に保管しておいてください。

注意・警告

- ・本品の取り付けは、駐車用ブレーキをかけ、平坦な場所でおこなってください。
- ・ポンベ設置以外での使用はしないでください。
- ・ポンベを載せる際はポンベ架がしっかり固定されていることを確認してから載せてください。
- ・ポンベ架にポンベを装着して使用する場合は、他の荷物や重量のあるものを車いすの後方に取り付けしないでください。荷重が車いす後方に集中して、転倒事故につながるおそれがあります。
- ・ポンベを載せる場合は、押し手や背シートポケット等後方に荷重が掛からないようご利用ください。
- ・取付条件に該当しない車いすに取り付けしないでください。

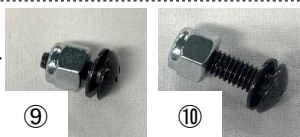
はじめにご確認ください

本製品購入後に、はじめて梱包箱をあけるときに、下記のものすべてが入っていることを確認してください。



No.	名称	個数
①	ポンベ架本体(内径130mm)	1
②	ポンベ架ステー A	1
③	ポンベ架ステー B	1
④	ポンベ架ステー C	1
⑤	ノブボルト M6*50	1
⑥	ボタンキャップボルト M6*20	6
⑦	平ワッシャー M6	10
⑧	ナイロンナット M6	6
⑨	タッピングビス M5*16	2
⑩	補修用ビス M6*16	2

<⑨と⑩の見分けかた>
ナイロンナット(⑧)に通してみても
回さず入る⇒⑨(M5)
入らない⇒⑩(M6)です



<使用工具> プラスドライバー ×1
六角レンチ(4mm) ×1
スパナ(10mm) ×1
スパナ(19mm) ×2
メジャー・直尺等
(あると良い) 電動ドリル(φ5.0)

取り付け方法

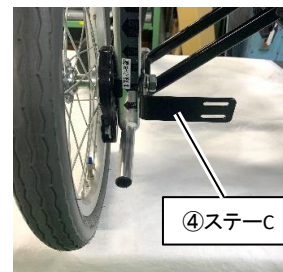
本説明書ではウイング装備車・MYU-16Iにウイング用ポンベ架をフレーム左側に取り付ける作業方法を例として示します。右フレーム側に取り付ける場合も作業方法は同様です。

1. ウイング用ポンベ架 ステーCの取り付け

- (1) 両輪の駐車用ブレーキをかけます。
- (2) スパナ19mmを2本を使用して車軸を固定しているナット、スプリングワッシャー、平ワッシャーを取り外します。
(車輪は外さないこと)



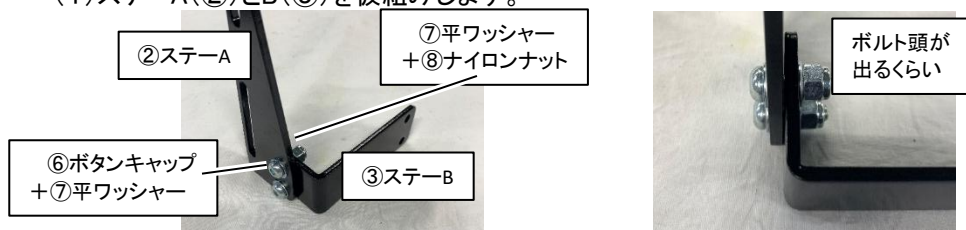
- (3) ウイング用ポンベ架 ステーC(④)を図のように車軸のシャフトに通します。
※その際、ステーCの長穴部分がフレームの内側に向くように取り付けて下さい。



- (4) 車軸から外したナット、スプリングワッシャー、平ワッシャーで車輪を固定します。
締め付けトルク: 24Nm

2. ウイング用ポンベ架 ステアAとBの取り付け

(1) ステアA(②)とB(③)を仮組みします。

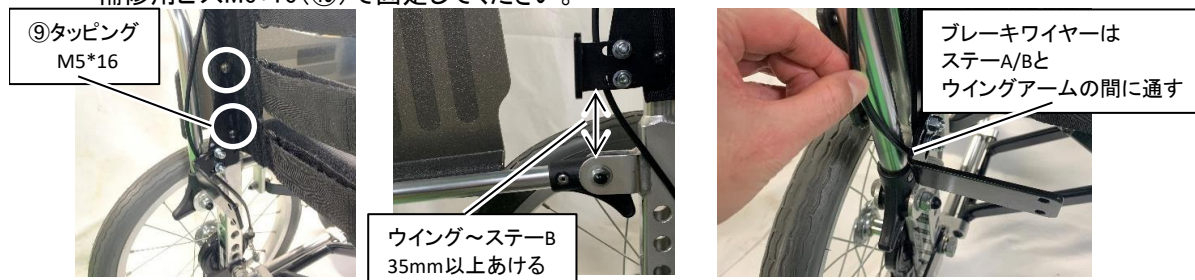


(2) インナーシートの背パイプに固定されている最下部とその上の(2箇所)ビス(写真○印)をプラスドライバーで外します。



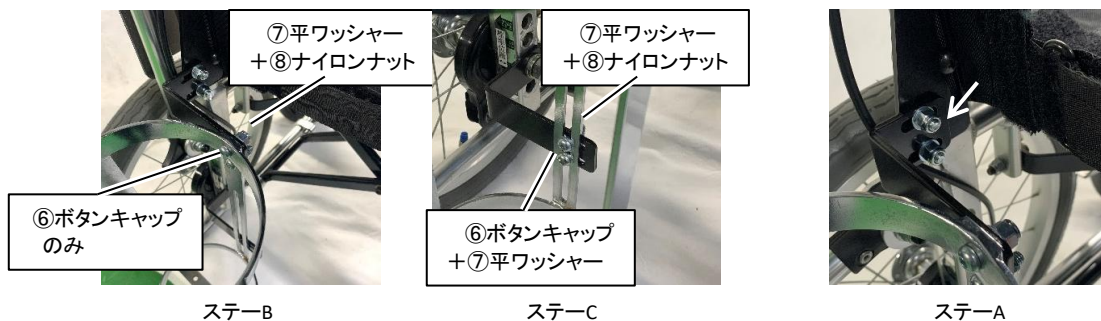
(3) (2)でビスを外した箇所へ、同梱の新しいタッピングビスM5*16(⑨)を使用して、ステアAを背パイプに固定します。その際、ブレーキワイヤーはステアA、Bとウイングの支点の間を通してください。

ステアA、Bより後ろにある場合、ウイングの作動時にワイヤーをはさみ破損する恐れがあります。※ねじ穴の破損によりビスが固定できなくなった場合は、ドリルφ5.0でビスが取り付けいていた穴を加工してから、補修用ビスM6*16(⑩)で固定してください。



3. ウイング用ポンベ架とステアA、Bとの取り付け

(1) ポンベ架本体側面の長穴があいている面を前方にし、(2) (1)でボルトを通した反対側からナイロンナットと平ワッシャーによりステアB・Cの4ヶ所を締めきって固定、仮留めしていたステアAのボタンキャップボルトとナイロンナットも締めきって固定します。



(3) ポンベ架に開いたM6のネジ穴へ後方よりノブボルトを取り付けて完成です。



<搭載時の注意>

ポンペを搭載する際は、ノブボルトを締め付けて、確実に固定されていることを確認してください。



本製品の廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。